

診断ひょうご

NO.68

平成17年1月1日発行

社団法人 中小企業診断協会
兵庫県支部

〒650-0004
神戸市中央区中山手通7-28-33
(兵庫県立産業会館内)
TEL(078)361-8034
FAX(078)361-8722
URL:http://www.shindan-hg.com

発行者 福島 繁



脱皮と前進の年に



社団法人 中小企業診断協会 兵庫県支部
支部長 福島 繁

2005年正月おめでとうございます。

会員及び関係者の皆様におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと存じます。

(社)中小企業診断協会におきましては昨年、創立50周年の節目を迎えました。兵庫県支部では11月23日記念セミナーを実施し237名の参加があり、おかげさまで大成功でした。本年も「魅力と特色ある支部を目指して」取組む所存でございます。皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻、心よりお願い申し上げます。新年に際しまして昨年来を回顧し本年の所感を記します。

(1)2004年の支部10大ニュース (新体制後の実施月度順)

- ① 新執行部体制スタート(5月)
- ② ひょうご元気交流会第5回開催(6月)
- ③ 会員向けメール発信スタート(9月)
- ④ 地元金融機関との業務提携契約(9月)
- ⑤ 新事務局体制となる(10月)
- ⑥ 診断実務研修大盛況(10~11月)
- ⑦ 土曜特別経営相談会スタート(11月)
- ⑧ 50周年記念BSCセミナー大成功(11月)
- ⑨ 「診断ひょうご」67号発刊(11月)
- ⑩ 企業内診断士マスター調査実施(12月)

(2)2005年の主な予定と課題

- ① 会員研修の益々の充実
- ② 近畿ブロック支部発表会の主催(秋頃)
- ③ 診断支援「定番商品」の検討・開発
- ④ 事務局移転問題の検討等

(3)面白い支部へFOCUSしよう・・・ 今後の活動指針

京都のあるハイテクメーカーは社是として「面白、おかしく」掲げ、発展しています。製品・仕事が精密なことを要求され気分転換のためにも「面白、おかしい」社風が特に必要だそう

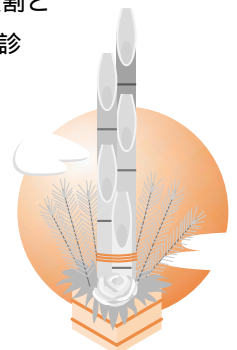
です。我々も「何でも自由に討議でき、皆で応援しあう面白、おかしい支部」を目指そう。支部もいろんな行事や仕事がありますが、出来るならばイヤイヤやるより「面白、おかしく」取組めばうまくゆきそうです。そのためにもFOCUSの5文字のキーワードを実行しよう。

- ① **F**riendly(友好的な仲間づくり)
- ② **O**pen(情報公開)
- ③ **C**lean(清潔に)
- ④ **U**tility(効率化・ムダ防止)
- ⑤ **S**peed(スピードアップ)

(4)「総合力とブランド力」確立してゆこう ・・・今後の診断支援業務

中小企業診断士業務はご承知のように個々人の専門家としての取り組みが基本です(例:販売、生産、経理等)。まず各々の分野で能力アップし、第1人者を目指し高度の専門化を図ってゆくことです。ところがどんな経営も部分最適ではなく全体最適が最重要であり、総合化が求められます。この時、個人の診断士では限界が生じる時があり、個人の診断士は結集して総合的に取組む必要があります<高度の専門化と総合化>。規模の大きい企業の経営診断は個人では取組めない。又個人よりチーム・支部の方が信頼性がある。クライアントからみた「総合性<組織力>と信頼性<ブランド力>」が支部の強さ・役割だと思います。それはちょうど医療業界の「診療所」に対する「総合病院」の特徴・役割とよく似ています(医療の機能分化と病診連携の動き)。ビジネスドクターである我々、診断士業界にも「個人オフィス」と「総合ファーム」の役割分化と連携が大切です。

「診断士個々人の益々の活躍」と「支部の組織力・総合力の確立」の両面を目指して工夫してゆきましょう。



企業再生には、中小企業診断士が核となる



(社)中小企業診断協会兵庫県支部 理事 内池 滋
兵庫県中小企業再生支援協議会サブマネジャー

■「企業再生支援」の定義

現在は、様々な定義がありますが、実践的・実務的な意味合いから、下記のとおりと致します。

「要注意先企業等の業績不振企業の抜本的な事業再生、すなわち事業の再構築・新たな収益向上施策の策定・不採算部門の撤退等により、競争力・収益性を高め、正常先にランクアップし、経営の健全化が安定的に確保されるように支援すること」

■「企業再生」における中小企業診断士の根本的役割

日頃、企業再生支援活動から実感できることは、次の3点です。

- ・弱りきった企業には、本業の抜本再生策を総合的な見地から策定して差し上げる(事業再生案)
- ・金融機関にとって、中立・公正な立場からの再生計画書が、金融庁納得の金融支援の根拠となる
- ・中小企業庁にとっては、各種支援関係者の中でも、最も頼りがいある再生支援専門家である

■実務的に何をどうすることが

上記にみるように、①根本的に「事業収益を健全化する」知恵が求められます。②金融・財務からみた資産処分や支援策等による再生計画です。③あれこれやる・・・というだけでは済まない、やれる「社内業務の再生」が必須です。“業務再生”と言われることが多いのですが、「経営の仕組み再構築」と言い換えたほうが適当でしょう。この3つの柱で整合性をもって計画化する必要があります。右下図の『再生計画策定の基本手順』をご参考にしてください。

なお、何がその中心になるかと言えば、わが診断士たちの「I 事業再生」に他なりません。

■“企業再生できるというメス”はどこに？

中企庁では、下記の「企業再生の指標」があり、それが“実現可能な計画であること”とされています。(詳しくは、中小企業庁のホームページ参照)

- 『・債務超過は、3年～5年で解消すること
- ・債務超過解消後から10～15年以内で借入金が返済できること
- ・効果として、雇用の確保や関係業者の窮状等も救えることが望ましい』

■中小企業再生支援協議会の活動実績

(H16.11.30現在 カッコ内は兵庫県)

- ・全国の相談件数 = 5,306件(138)
- ・再生計画策定支援件数 647件(18)
- ・うち完了案件 311件(8)

ほとんどが、わが兵庫県支部の診断士各位のご活躍によるものです。

■トップコンサルタント会社作成の『再生計画書』の品質問題

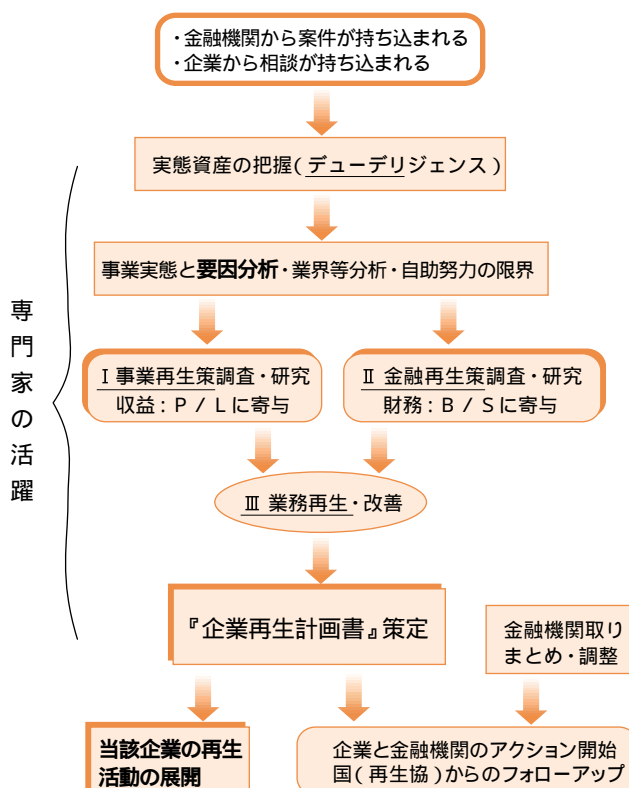
再生支援協議会に持ち込まれた案件の中に、わが国トップクラスのコンサル会社のものがあります。いずれも厚みは百数十ページの威容さですが、なんと中身の無い：過去の事実分析がほとんどで、“収益を高めなければならない”というだけで、その策が無い！ それでいて数百万円から1千数百万円も、弱りきった企業から取っています。任せておいてよいのでしょうか？！

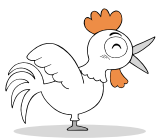
■わが支部会員としての課題

再生支援協議会は、今後とも主にわが支部の専門家と連携して活動を推進しますが、是非次の課題について努力する必要があります。

- ①再生計画策定にあたり、過去のデータ分析や欠点指摘が中心ではいけない。強み資源を深く掘り下げ、本質に遡って分析する。その上で具体的・斬新な収益改善策が創出されること
- ②「税務会計」から「管理会計」に詳しくなること
- ③金融機関との連携を密にし、金融用語や金融再生手段についても知識集約すること

【再生計画策定の基本手順】





年男よりメッセージ



新年の抱負 〔私流の生き方〕



窪津 博充(昭和8年生)

我が社の中期経営計画の見直しを進める中で、色々のビジネスが見えている。また、私共がこれまで経営革新をお手伝いしてきた多くの企業様は如何なる場面においても環境変化を発展機会として捉えて、新たに事業開発を進められ、それを成功要因化しているという事実がある。これは、ビジネスチャンスが常に存在しているという事を意味している。

今、お手伝いしている企業様には、30名から900名規模の企業様まであり、今年年初からは、4500名規模の企業様の指導も始まる。規模・業種を問わず、一様に正しい戦略を求め、新しい企業文化の創出を目指しておられる点では全く同じであり、挑戦し続ける企業の姿でもあろう。

診断士を取得し、開業して20年。診断協会にお世話になり、協会副支部長を離れて7年。今、我が社の事業、コンサルタント業に専念し、邁進している。本当に毎日が超多忙である。まだまだやりたい事が山程ある。どうしても、遺しておきたいこともある。6回目の酉年に改めて想起し、今将来をも考えている。

年男の抱負 加齢を大いに楽しむ



高畠 和也(昭和8年生)

今年は何んと6回目を迎える年男となりました。まさかこの年まで仕事を続けるなんて、若い頃には考えても見ませんでした。1昨年の11月に70歳の大台を迎えたときは一瞬ではありますが、まさに老境に入り込んだなあと複雑な気持ちになりました。今から思えば定年を迎えたときから最近まで、あと何年まともなことができるのかなといった「引き算」人生だったように思います。ところが次の大台になると心が座ったのか、「加齢」を大いに楽しもうと挑戦を間断なく進めてその日を過ごしています。例えば、毎朝欠かさぬ1時間の早足散歩、仕事量や内容もこなして、定年後の11年間では比較的充実しているように思います。また、忙しいなかをくりぬけて毎年1回は海外旅行へ出かけていますが、今年からは複数回数実行に挑戦しよう、とりあえず春の2週間旅行の準備をしています。

気は持ちよう、これからが本当の充実した人生のスタートだと思いつち、現在の仕事や新たに加えた自分投資を1日でも長く続け、お役に立つよう頑張るつもりです。記念すべき年を迎え、年輪を重ねて輝かし未来を築いていきたいと念じている次第です。

新年

高橋 成(昭和8年生)

新年という言葉に強烈に意識した年代があったように思う。

いや、今もそうでありたいの願望がある。なんて考えることが高齢化しているようだ。実は、高齢化と言うが、幾歳から高齢化と言うのかが分からなくなってきている。「もう歳や!」「幾歳からもうや?」「え-??60歳か?いや、70歳か?」どうでも良いようなこんな会話が。地元町内は高齢者がずらり。平均年齢はほぼ70歳。すると60歳は若い。60歳は働き盛りである。しかし、70歳を過ぎると?矢張り年齢に応じて、生きることに対応が求められて当然である。

さて、どの様に今後を考えて生きるべきか?70歳は岐路である。他人に迷惑を掛けずに生きたいが。隣人は100歳で元気である。なにはともあれ新年酉年は落ち着いた良き年になりますように。診断士の皆様にとって、生きることの診断も含めて良い社会を標榜して戴きたいものである。

新年明けまして おめでとうございます。



細川 祐三(昭和32年生)

早いもので私が診断士を登録し16年が過ぎようとしています。

時代の変化に伴い常に「新しい何か」を求めなければならない私(診断士)にとって、この16年はバブル絶頂期から始まり平成不況という中で診断士業務に当たってきました。

それぞれの時代に合わせ指導テーマも当然変わり、バブル期は「人」に関するテーマ、今日では「創業」に関するテーマがメインになっております。

そして今年は少し視点・ターゲットを変えた指導に取り組む予定があり、今後のメインテーマの一つになればと思っております。

今年酉年。大空は飛べないかもしれませんが、少しでも先に飛んでみる。そんな節目の年にしたいものです。



「経営革新と業績向上のための最強の武器」

神戸商工会議所神商ホールにおいて、平成16年11月23日(火・祝日)13時から17時までの4時間、BSCの第一人者で横浜国立大学大学院教授・エジンバラ大学客員教授である吉川武先生による標記の講演をITC兵庫会、関西ITCアソシエイトと共催で行いました。開催につき、(財)ひょうご中小企業活性化センター、(財)神戸市産業振興財団、兵庫県商工会議所連合会、神戸商工会議所、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会、神戸商工会議所、兵庫県中小企業家同友会など多数のご後援を賜りました。実行委員会の一員として心からお礼申し上げます。

バランス・スコアカードとは、ビジョンと戦略をアクションに落とし込み、総力戦で成長力と競争力をつけて未来を切り開く経営手法として米国で開発されたものです。

1980年代の米国企業の経営行き詰まり原因を分析した結果、財務評価一辺倒の短期経営評価の弊害が顕著であると分かりました。バランス・スコアカードはこの問題を解決する手法として開発されたものです。

特徴の第一は、過去の経営を評価する財務指標だけでなく、現在および未来の指標も組み込むことで、バランスがとれた戦略を作成することができることにあります。第二としては、これらの指標の例として、財務の視点、顧客の視点、業務プロセスの視点、人材と変革の視点の4つがあげられます。これらの視点は、過去・現在・未来を繋げる視点で、事業の内容や状況に応じて他の視点を加えても、他の視点に変更しても構わないものです(環境の視点など)。第三として、それぞれの視点を目的と手段が順次一致するように関係づけることによってバランスがとれた経営戦略が作成できることとなります。これらのことを特徴とする経営革新と業績向上に資する強力な手法です。

米国ではすでに主要企業の60%が採用しており、ヨーロッパ、特に北欧での普及が著しくなっています。日本でも企業だけでなく、自治体、病院で採用され始め、三重県では4病院で実施されて、すべての赤字病院が黒字化されたとのことです。

当初、記念行事の実施に際し、今回の実施において最大の立役者であり裏方であった奥村理事からの提案に対し、果たしてどれ程の方がお見えいただけるか、私自身、少なからず不安がありました。しかし、実際には予定していた200名を超え、237名ものご参加をいただきました。共催・後援の各団体、会員、実行委員の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

講演の成果もアンケートの結果から見れば自画自賛したくなるほど良好なものです。一部紙面をお借りしてご報告申し上げます。

1. 参加者の内容と人数

製造業	卸売業	小売業	サービス業	金融業	コンサルタント	その他
33	8	4	29	8	59	11

2. プログラムの内容

満足	おおむね満足	普通	やや不満	不満	その他
73	66	6	1	0	0

3. 理解度

理解できた	少し理解できた	あまり理解できなかった	まったく理解できなかった	その他
89	48	3	0	0

4. バランス・スコアカードの導入

すでに導入	現在導入中	導入を検討	導入しない	その他
11	11	83	7	0

5. 今後開催される「バランス・スコアカード」セミナー

参加する	参加を検討	参加しない	その他
41	80	14	7

「 バランス・スコアカード 」



6. その他

自由記述の欄に、

- ・良い機会を頂き、感謝します。分かりやすい説明で、良く理解することができたと思います。今後、私のクライアントにも、上手くアレンジして導入を図っていきたいと思います。
- ・バランス・スコアカードという言葉の意味がよくわかりました。
- ・客席まで入って、一体感をもって、お話をされ、よく理解できました。[わかりやすい表現で]大学の先生だから、期待はしてなかったが、大変すばらしい講演でした。B S Cを作り上げて成果を上げようという、気持ちになりました。深く感謝します。
- ・低価格の料金で、すばらしい内容であった。このような企画を、これからも継続してほしい。
- ・先生のお話がうまく、噛み砕いた解説で、分かりやすかった。
- ・ケーススタディを用いての、バランス・スコアカード構築の実践的研修を行ってほしい。B S C 導入支援セミナーは、平日でなく、参加しやすい土・日に行ってほしい。
- ・すばらしい講演でした。もっと、詳しい内容を勉強したいのですが、神商会を通じて教えてください。
- ・一番大切と思われる、全体への意識反映[目標反映]のため、実際社員の意見反映を、意識向上を引き出すプロセスを具体的に経験してみたい。
- ・ビジュアル的にわかりやすく説明できている。テンポよく話されていてよかった。
- ・おおむね理解できたが、もうひとつ具体的なところがよくわからなかった。中小零細への本格導入に効果があるかどうか知りたい。
- ・吉川先生のわかりやすく、熱のこもったお話を聞かせていただいております。
- ・セミナーの内容に関しましては、非常に参考になりました。会場内が非常に寒くて、それがつらかったです。
- ・極めて興味深い内容でした。はじめてなので、少しスピードがはやかった。
- ・策定プロセス、ひとつひとつの事例紹介について、もう少し時間をかけて解説してほしい。
- ・時には、関東からでも一流の講師を招くことも有意義だと思う。
- ・吉川先生のセミナーは、今回で2度目の出席ですが、毎回、新しい発見のある有意義な講義でした。ありがとうございました。
- ・テーマとトップクラスの講師がよかった。立派な企画だと思います。
- ・体系的具体的なお話で、腹に落ちるよいセミナーでした。断片的、対症療法的にやっていた内容が、自分の頭の中で整理されるようでした。謝。
- ・大変有意義なお話でした。コンサルの先生にもお手伝いいただきながら、導入を検討します。
- ・内容が豊富であり、時間が不足。資料は、できるだけすべてそろえてほしい。今回、資料に入っていなかった部分を、追加でいただきたい。
- ・日本の企業・非営利組織の事例紹介を多く希望する。企業文化の差異により、導入時に苦労した点、工夫した点の話が聞きたかった。
- ・日本における、中小企業の経営に導入するため、どのようにすれば効果的か、事例をもって説明してもらえればもっとよかったと思います。
- ・吉川教授の書物も読んだが、実際に聞いて理解が深まった。
- ・スタッフの皆様、お疲れ様でした。とても有意義でありました。ありがとうございました。
- ・配布資料が、カラー刷、もしくは2色刷だともっとよかった。日本企業の事例をもっと多く紹介してほしい。
- ・大変参考になったというか、刺激になった、私の求めているものがあった！！という感じです。それと吉川先生の温かみのある人、人間性に魅力を感じた。
- ・楽しく拝聴することができた。

(次ページへつづく)

(「経営革新と業務向上のための最強の武器“ バランス・スコアカード ”」のつづき)

- ・スライドに写していただいている資料で、印刷されてないものがあつたのが残念でした。できれば、ペーパーの資料として頂戴したかった。
- ・視点を自由に選択して良いという点が、わかつたことがよかつたと思います。これまで本で勉強していませんが、多分、本には書いてないのではと、思ったところです。
- ・実用化できるまで勉強したい。成功事例研究をご披露願いたい。事例集。
- ・もう少し、中小企業に落とし込んだ御講義をいただきたかつた。

その他多数のご意見をいただきました。おおむね高い評価をいただきましたが、主催者側において反省すべき点、ご指摘もあり今後の参考にさせていただきます。アンケートに対しても真摯なご回答を頂いたこと、厚くお礼申し上げます。

ご来場の方々には、バランス・スコアカードの全容、基本的な手順等に関してご理解いただけたと思いますが、具体的に活用するためにはより深く取組まれることが望ましいと考えています。診断協会兵庫県支部ではバランス・スコアカードを普及するために更なる支援活動を予定しており、第1段として実践研修を4月に行うことを計画しています。

具体化でき次第ご連絡致しますので、奮ってご参加ください。(実行委員会事務局責任者 常任理事 白尾嘉一)

委員会だより

総務委員会

総務委員 理事 斉藤 悠実

新年明けましておめでとうございます。

昨年、総務委員会では会員に向けての基本的なサービスの向上を目指す取り組みを行ってまいりました。兵庫県支部の情報発信の機会を増やすために、広報委員会と連携して支部会員向けメールリストの整備を行いました。

また、支部活動を円滑にするために、「理事会規定」や「役員選任規則」などの支部規約の見直しを行いました。本年も引き続き「慶弔規定」や「出張旅費規程」など規定類の見直しや、「職務分掌規定」の整備を行っていく予定です。

支部活動の機動性を向上させることで、会員の皆様の益々のご発展とご活躍の一助になればと考えております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

プロジェクト開発委員会

プロジェクト開発委員長 常任理事 平野 征夫

あけましておめでとうございます。

プロジェクト開発委員会の、元気企業交流会は昨年1年間「顧客満足向上」をテーマとして企業での取組を促進していく活動をしてきました。今年も「顧客満足度向上」に取組む具体的な提案をしていきたいと考えています。また、医療・福祉経営研究会では、介護事業・シルバー事業経営の戦略提案を初め事業家に提案をしていく活動に進化していくことを目標にします。企業経営に役立つ提案が出来るように皆様のご支援、ご協力をお願いします。今年も羽ばたく年になりますようにご活躍を祈念します。

会員研修委員会

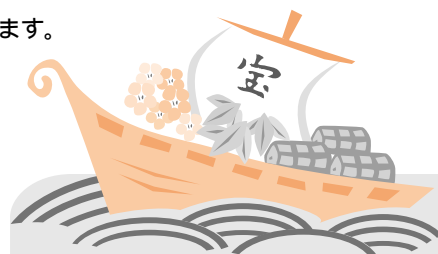
会員研修委員長 常任理事 大森 啓司

みなさん、新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族で健やかなお正月をお迎えになられた事と存じます。

さて、昨年度は新体制の下、会員研修委員会も新たな取り組みに微力ながらいそいそとまいりました。新研究会の発足・支部研修実務研修の充実など新旧メンバーが入り混じり、参加者の前年対比増をめざした勉強会を企画しています。

業務ご多忙とは存じますが、本年度もぜひ、自主研究会をはじめとした勉強会にご参加いただけますようお願い申し上げます。





自主研究会抄録

10月度研究会

テーマ：「夢の実現 Rave de Chef の経営戦略」

講師：株式会社レーブドゥシェフ社長 佐野 靖夫氏

日時：平成16年10月4日(月)18:00～20:00 場所：神戸市産業振興センター902号室

地場産業研究の一環としてお話いただいた。冒頭から「宣伝しに来ました」と、ユーモアもある講師は、和菓子屋に生まれ牧場主を目指す回り道も経て、甘いもの好きでもあり、外来ゆえに自由も利き能力を発揮できるとこの道を選び、日本一の職人を目標に「20代は死ぬ気で」と人の何倍も働き学んだ。

若い日に銀座で存分に修行し、食べ比べて自信があったから「東京コンプレックスはまったく無い」などボンと言い切る人だ。また、本場ヨーロッパをどう見るかの質問に「日本人の味覚で美味しいとは思わぬ、自分の感覚で美味しいものを」とも言う。ただ退社してでもと本場修行を望む若者のためには、同業20数社協同で欧州に宿舍を持つなど、教育面では現実的である。

演歌で「負けたらあかんで東京に」と妙に力むのがあった、かつては海外に対してと同様「東京に負けるな」が経営進歩の源泉になり得た。今は力の入れどころが違う時代になったようだ。深い学びがある、きっと私のまだその価値を理解してないような、大切なものを懸命に追いかけてきた人なのではないか、などとも思った。

おいしさが語りかけてくる菓子を目指すと言う。おいしさの決め手は1に材料、2が鮮度、3番目が技術とも。当然コストがかかる。おいしく買いやすくするためには、関東では小さくてもよいが、関西ではボリュームも要求される。そこで創業期にオーナーの給料はゼロと割り切って懸命に働いた。売れなくて暇なときには良い製品開発に取り組み、売れ残りそうな菓子はただで差し上げてお客様に良さを知っていただいた。

苦しいとき、わずかでも買ってくださいとお客様に感謝し、大切にするとところに新たな発展の途を発見してきている。結果としてさまざまな売れ方を見出している。立地と顧客次第で超高級品がどんどん売れる。震災後は嗜好品だから商売にならぬと言われながら、お見舞い需要で繁盛もした。わざわざ遠方から来店したり、長時間待っても手に入れ、贈り物にしたりすることで満足する方もある。急な拡大は望ましくない、等々。21世紀の商売への示唆の多いところと思う。

同業から技術と指導力を認められ、跡継ぎを預けられることも多い。師弟関係も交えつつ一般社員も育成する。苦手とするタイプの若手にも伸びる個性を見出して愛し、正面から向き合い、社の内外に貴重な人材が増えているようだ。参加するすべての人が成長する企業でありたいと、経営の抱負を語られた。多くの中小企業者にも学んで成長していただける、何かを持つ経営者である。

(理事 千田 徹夫)

11月度研究会

テーマ：神戸医療産業都市構想について

講師：神戸市企画調整局調査室 主幹 澤田 靖氏

日時：平成16年11月1日(月)18:00～20:00 場所：神戸市産業振興センター902号室

◆ 神戸市経済復興の現状

平成8年の阪神淡路大震災から約8割の復興。未来に向けて、今何をなすべきか。産・学・官の連携により神戸の立地条件を生かし新しい雇用を創出する選択肢のひとつとして「神戸医療産業都市構想」が具体化している。

◆ 先端医療センターの概要

運営主体：(財)先端医療復興財団

事業費：132億円

医療・臨床研究を実施

- ① 造血幹細胞移植
- ② 下肢の末梢血管再生、心臓血管再生
- ③ 略
- ④ 略
- ⑤ 脳血管内医療 等

5階建てのセンターは、医療機器棟、研究棟、臨床棟に分かれている。



◆ 産業化への取り組み

神戸バイオ・メディカルファンドを創出し現在33社に投資している。

そして新たな企業誘致方策として、土地の定期・普通借地制度、賃借料の傾斜減額等により弾力的な対応を行なっている。

神戸は確実に変わりつつあり、中小企業診断士の業務分野も、また新しい未開の領域が開けているようである。

(理事 大西 一達)



支部だより

昨年は新執行部の発足、メール配信希望者を募り、診断・指導、経営相談、セミナー等支部受注業務の担当希望者の公募、各種研究会・勉強会のお知らせ、会員に關係の深い事項を中心とする役員会議事録概要の配信を開始するなど、友好的かつオープン、清潔でスピーディな、会員のためになる(=地域中小企業のためになる)兵庫県支部づくりを進めてまいりました。特に11月以降は、(社)中小企業診断協会設立50周年記念の支部事業として、第一人者である吉川武男横浜国立大学大学院教授・エジンバラ大学客員教授を講師に迎えた「バランス・スコアカード」講演会を開催し約240名の参加者を得て成果を収めたり、当支部の元支部長である小川特別理事が長年の中小企業診断協会や当支部の活動に対する貢献を認められ「経済産業大臣賞」を受賞されるなど、支部にとってもおめでたいことが続きました。

本年も、この好ましい流れを引き継ぎ、より充実させて、多くの会員の皆様が支部活動に積極参加し、支部を有効活用していただけるよう、執行部・事務局一同決意を新たにしております。本年も、よろしくお願い申し上げます。

なお、支部では引き続きメール配信希望者を募集中です。配信ご希望の方は、支部事務局宛て、電子メールにてお申し込みください。また、住所、電話・FAX番号、勤務先、メールアドレス等に変更のあった方も、ご連絡をお願いいたします。

総務委員長 常任理事 平井清美

各研究会スケジュール

問合せ先:兵庫県支部 078(361)8034

日時	場所	テーマ	講師
自主研究会 (場所は一部未定です。)			
1月11日(火) 18:00~20:00	神戸市産業振興センター 902号室	顧客感動経営とは	元リッツカールトン 支配人 林田 正光氏
2月7日(月) 18:00~20:00	神戸市産業振興センター 903号室	被災地域における中小企業の現状と課題	企業内診断士活性化研究会
3月7日(月) 18:00~20:00	神戸市産業振興センター 902号室	経営革新の成功事例を学ぶ ~経営革新事例発表会 最優秀賞受賞~	兵庫県支部会員 穴田 喜代嗣氏
診断技術向上研究会			
1月26日(水) 19:00~21:00	神戸いすゞ リクルートビル14階	競争パターンから見た戦略	兵庫県支部会員 明石氏・大森氏
2月23日(水) 19:00~21:00	神戸いすゞ リクルートビル14階	組織能力面から見た戦略	兵庫県支部会員 大場氏・畑(薫)氏
3月4日(金) 19:00~21:00	神戸いすゞ リクルートビル14階	戦略事例研究 全体発表・意見交換会	加古川市 通信機器販売社長
経営法務研究会			
2月1日(火) 19:00~20:30	神戸市産業振興センター 804号室	介護保険法の動向	兵庫県支部会員 井上 雅晴氏
3月1日(火) 19:00~20:30	神戸市産業振興センター 804号室	NPO関連法規から	兵庫県支部会員 井上 雅晴氏
企業内診断士活性化研究会			
1月19日(水) 19:00~21:00	生活創造センター クリスタルビル 4階B	勉強会(詳細は未定)	
2月16日(水) 19:00~21:00	生活創造センター クリスタルビル 4階A	勉強会(詳細は未定)	
地域産業活性化研究会			
1月12日(水) 18:00~20:00	神戸市産業振興センター 804号室	研究会具体的取組の打ち合わせ 及び関連調査報告	

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は景気もようやく明るさを見せはじめ、皆様もさわやかな新年をお迎えになったこととお喜び申し上げます。本年は酉年にあやかって元気に羽ばたきたいものですね。昨年は広報誌とホームページの充実やメールマガジンの発信に取り組みましたが、本年も引き続き皆様に喜んでいただける広報活動を目指して活動の幅を広げてゆきたいと思っております。皆様のご協力と広報誌のご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

(上村 隆夫)